

第3期地域福祉計画（素案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続の結果について

1. 意見の募集期間

令和2年12月1日（火）から12月30日（水）

2. 意見の募集方法

公表資料を新得町ホームページに掲載したほか、新得町保健福祉センター、新得町役場屈足支所、新得町図書館に備え付けました。また、意見の提出方法は、直接ご持参いただくか、郵便、FAX、電子メールのいずれかによることとしました。

3. 提出された意見

3名の方から19件のご意見を頂きました。意見の内容と結果については次のとおりです。

地域福祉計画（素案）パブリックコメント（意見公募）結果一覧

No		計画に対する意見	意見に対する町の考え方	計画への反映方針
1	第1章 P4	6行目 第2次の記載だが、第2期でないか。	記載誤りのため訂正します。	反映
2	第1章 P6	5.5 防災基本計画の修正 新得町の記載がほしい。新得町では地域防災計画の改定（平成26年）において、災害予防計画に避難行動要支援者等の要配慮者計画を修正した。	新得町地域防災計画の改定について追記します。	反映
3	第2章	<p>① 各表に単位が必要ではないか。</p> <p>② 要介護認定者（1～5）、身体障がい者（1級～6級）、療育（重度、中度）、精神障がい者（1級～3級）、障がい認定（区分1～6）の程度の内容を示すものがあるが、あってもよいのでは。</p> <p>③ 1.3 介護給付費の推移で表で件数の内訳、1号被保険者数、給付費、保険料標準額の言葉の説明があってもいいのではないか。</p> <p>④ 1.4 障がい者の状況の手帳交付者は実人員でいいのでしょうか。複数で障害を持っている方はいないのですか。</p> <p>⑤ 「2 施設の状況」として、高齢者施設、介護事業所等の現在の設置状況が合ってもいいのではないか。</p>	<p>①各表に単位を追記します。</p> <p>②各種別の程度の説明を記載すると情報量が多くなるため、記載はしません。</p> <p>③語句の説明を追記します。</p> <p>④複数障がいを持っている方は主障がいでカウントしており実人数で記載しています。障がい数ごとに記載すると人数をイメージしづらくなるため、現行記載のままとします。</p> <p>⑤個別計画として位置付けている高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に記載があるため、本計画では記載しません。</p>	一部反映

No		計画に対する意見	意見に対する町の考え方	計画への反映方針
4	第2章 全般	各表について数値は各年度末とあるが、各データの出典を入れたい。	出典元を追記します。	反映
5	第2章 P12	1.6表 被保護の人口欄の数字は誤りでないか。	記載誤りのため訂正します。	反映
6	第4章 全般	この街の人口に占める福祉関係の人口占有率は決して少なくはないように思える。町の発展という視点に立って考えてみた時、福祉分野の人口増という現象は町の歴史の中でも比較的新しい発展可能な素地ととして見ることはできまいか。町の歴史を振り返って見た時、狩勝トンネルの一大工事、そして開通が、町の発展にとって欠かすことのできない一大事業であったことに異論を挟む者はあるまい。このことは町民全員の願いがあったればこそ実現し、町の発展に大きく寄与していった。歴史は人々が創造していく一面も持っている。町民の創造が町の未来を築いていく。新得町の未来は、福祉政策に力を入れていくことにあるといえまいか。そしてそれは、輝く福祉の町を築くことだ。福祉を受ける者も福祉を行う者も輝ける政策でなくてはならない。あらゆる英知を持ち寄り未来へつなげる福祉政策を立案し創り上げることこそが新得町の未来になっていくのではあるまいか。極端に言う、福祉関係事業に合わせた街づくり、福祉事業を街の中心に置いた政策、町民の意識も変化していく政策、若い人を育てるための福祉専門学校を創り情報デザイン科とIT技術化をもうける。老人養護施設特別養護施設・ホスピタルの輝けるもの(ハード・ソフト両面で)を造り、そこに於ける労働人口が増加していくよう計らう。	新得町は障がい福祉施設が複数あるなど他の地域にくらべ福祉施設が多いため関連する人口比は他町村よりも高いことが考えられます。しかし、新得町の介護が必要になると想定される75歳以上の人口は、国の推計では2025年をピークに減少すると推計されており、特別養護施設など関係する人口も減少していくと推察しています。今後も時代の流れを見据えながら、町の様々な産業に関連する労働人口や定住者が増加するよう、総合計画・総合戦略などで取り組みをすすめていきます。	参考
7	第4章 全般	第4章が他の章と統一性がとれていないのではないかと。他1件	第4章については、内容の構成上、他章とは違う書式としています。	その他
8	第4章 全般	地域や住民の取り組みで「…しましょう」を「…します」にした方がいいのではないかと。計画書なので呼びかけのよりも町が責任を持って進める表現の方がふさわしいのではないかと。	地域住民の方に自主的に活動していただくための依頼として、自主性を促す記載にしています。	その他
9	第4章 P17	町の取り組み表 ① ①の3行目。地域福祉実践計画との連携、策定計画への支援と思うが、文章の整理が必要。 ② ②の1行目特色ある取り組みの支援も必要だが、町内会支え合い事業の組織化への財政支援や助言も必要。	①文章を整理、修正します。 ②支え合い事業に限らず町内会事業における支援制度について検討していきます。	反映、参考

No		計画に対する意見	意見に対する町の考え方	計画への反映方針
10	第4章	<p>目標値の記載について</p> <p>①P19 ・自主防災組織率の目標値を15.0%とする。を追記する。・災害時避難行動要支援者名簿の町内会等共有割合の目標値を80.0%とする。を追記する。</p> <p>②P21 ・ボランティア登録者の目標値を200人(47人増加)とする。を追記する。</p> <p>③P24 ・介護認定率の成果指標を25.6%以下とする。を追記する。 ・認知症サポーター養成者数を1,450人(60人増)とする。を追記する。</p> <p>④施策は文章表現だけでよいか。総合計画の主要個別計画であり、目標値を実践する計画でありたい。設定目標値は記載したい。</p>	<p>①～③参考として第8期総合計画の成果目標を追記します。</p> <p>④地域福祉計画の個別計画として位置付けている健康増進計画等の各計画において、それぞれ目標値を設定しているため、本計画では個別の目標値を設定していません。</p>	反映
11	第4章 P19	町内会や地域の防災組織整備が進まないのは何故か。要支援者の支援体制、防災訓練にもかかわることで、関係部署間の一層の連携が必要。町内会への組織化訴えも弱い。	町内会支え合い事業や要支援者名簿の共有を通じ、町内会の防災意識の向上を図ります。	参考
12	第4章 P19	災害ボランティアセンター設置に関連して、他町村でも協定が進む町と社協の支援協定を検討するべきではないか。	平成29年7月に町と新得町社会福祉協議会により災害ボランティアセンター設置運営協定を締結済ですので、協定について追記します。	反映
13	第4章 P24	認知症サポーターの資質向上のため、フォローアップ講座の開設を検討する必要があると考える。	認知症サポーターを対象としたステップアップ講座の開催を検討します。	参考
14	第4章 P27	地域や住民の取り組み 除雪困難者は増加するばかり。ボランティアや登録支援は人的地域力の限界にある。歩道除雪機の増車による迅速除雪など体制の見直し、共助の充実を望みたい。	事務事業の見直しの参考とします。	参考
15	第5章 P30	1.3 町独自の助成 特色ある取り組みに検討するとしているが、コミュニティ活動として制度設計してはどうか。他町村では活動をメニュー化するなどし、取り組み町内会活動を財政支援する事例が多い。	町内会事業における支援制度について検討していきます。	参考
16	全般	各章で「1.1」「1.2」…とあるが「1-(1)」もしくは「1-(ア)」など変化をつけた方がわかりやすいのではないか。 他1件	見やすい記載に修正します。	反映

No		計画に対する意見	意見に対する町の考え方	計画への反映方針
17	全般	<p>①地域や住民の取り組み。残念ながら、役割分担の情報共有が進まない。町民と地域・事業者はお互いに受益者であり担い手。町づくりアンケートの満足度数値を活用するなど活動を見える化して、町民や地域にこまめな情報発信を進めたい。</p> <p>②新規事業の表示、検討事項を含めて【新規】や④表示できないか。</p>	<p>①各種情報発信について、方法を検討していきます。</p> <p>②新規事業、新規課題については「【新規】」を表示します。</p>	参考、反映
18	全般	町内会福祉委員 平成5年社協の設置依頼。毎年度役割を説明するだけで、地域機能していない。活用方法や支援を検討すべき。	社会福祉協議会と福祉委員の役割について検討します。	参考
19	全般	コロナについて 収束が長びきそう。新生活スタイルは、感染症対策として一般化されることと想定し、地域福祉活動は人対人の関係が多い分野、どこかに加えておきたい。	感染症対策を意識した上での活動が重要となることから、新しい生活様式の実践について追記します。	反映